

単元名：観光親善大使になって日本の PR をしよう

本単元で育成する資質・能力 豊かな表現力

- 1 実施日 令和 2 年 12 月 9 日（水） 6 校時 14：20～15：10
- 2 学年・学級／場所 2 年 1 組（男子 19 人，女子 19 人 計 38 人）／2 年英語教室（中校舎 2 階）
- 3 単元について

(1) 単元観

本単元は、インド出身のラーズが、多言語が使用されている自国の文化や、言葉と社会の結び付き等について話したり、友達からの質問に対して具体的に答えたりする内容である。相手により詳しく伝える必要のある場面で構成されているため、In addition to those ,…や、I hear～.等の表現が用いられていたり、大きい情報から小さい情報へと話が展開されていたりする。

言語材料としては受け身が扱われており、相手からの質問に対して具体的に答えたり、詳しい説明を加えたりする方法を学ぶのに適した単元であると言える。

したがって本単元では、中学校学習指導要領外国語編（平成 29 年）1 目標 (3)「話すこと [やり取り]」のイ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」ことを目標とした単元と位置づけ、相手からの質問に対して具体的な情報を加えて答えることができる力を育成する。

(2) 生徒観

本学級は、授業中のペア活動等においては助け合う姿が多く見受けられ、英語が苦手な生徒も友達に支援してもらいながら授業に参加できる親和的な雰囲気がある。

以下は 10 月に行った英語の授業に関する意識調査の結果である。

質問項目		よくあてはまる	あてはまる	余りあてはまらない	あてはまらない
1	英語で友達とやり取りすることは楽しいです。	21.1%	44.7%	23.7%	10.5%
2	自分の考えや気持ちを伝えることができるようになった。	23.7%	50.0%	18.4%	7.9%
3	相手の言ったことに対してうなづいたり、一言感想を言ったりできるようになった。	29.0%	34.2%	36.8%	0%
4	簡単な英語を使って、質問をしたり答えたりできるようになった。	44.7%	42.1%	13.1%	0%
5	その場で相手に質問したり、答えたりして伝え合うことができるようになった。	21.1%	39.5%	31.6%	7.8%
6	相手の質問に対して、さらに一言付け加えて答えることができるようになった。	15.7%	31.6%	42.2%	10.5%
7	相手の言ったことに対して、どんな質問をしたら対話が続くかを考えてやり取りをしている。	18.4%	44.7%	31.6%	5.3%

この意識調査の質問項目のうち、「簡単な英語を使って質問をしたり答えたりできるようになった」と肯定的評価をする生徒の割合が 86.8%、また「自分の考えや気持ちを伝えることができるようになった」と肯定的評価をする生徒の割合が 73.7%という結果から、昨年度から帯活動として継続して行っているスマールトークを通して友達と英語でやり取りすること慣れ、楽しくやり取りをしていると考えられる。しかし、「相手の言ったことに対してうなづいたり、一言感想を言ったりできる」「その場で相手に質問したり、質問に答えたりして伝え合うことができる」「相手の言ったことに対して、どんな質問をしたら対話が続くかを考えている」については肯定的評価の割合が 60%ほどにとどまっており、やり取りを継続させることに課題があると考えられる。また、最も肯定的評価が低かった項目が「相手の質問に対して、さらに一言付け加えて答えることができるようになった」で、

47.7%という結果であった。新たな情報や感想などを付け加えることで、やり取りの幅を広げたり深めたりして発展させていくことに課題があると考えられる。

10月に行った『週末にしたこと』をテーマにしたパフォーマンステストでは、78.4%の生徒が週末はどうだったかという質問に対する答えとともに、感想や内容について詳しく述べるなど2文以上で答えることができた。しかし、その後のやり取りの中で内容についての質問に2文以上で答える割合は21.6%となり、1文で答える生徒がほとんどであった。この結果からも新たな情報を付け加えて答えることに課題があることが分かる。同時に質問に関しても、パターン化した質問はできるが、相手の発話に応じた質問をその場で考えてやり取りをすることが十分に定着していないことも明らかとなった。

また、本単元で扱う言語材料の受け身は、進出の文構造であるため、実際のコミュニケーション場面において、正確に用いることができるようにするためにも段階的で丁寧な指導が必要である。

(3) 指導観

本単元の言語活動としては、「観光親善大使として日本の魅力をPRしよう」という活動を行う。前単元となるLesson 6において、自分の行きたい国を1つ選び、その国を紹介するという言語活動を行った。その単元と関連付け本単元では、自分の行きたい国に中学生観光親善大使として行くとしたら、日本のどの様な魅力を伝えたらよいか、その国の人々にとって魅力となるものは何かについて考え、互いの考えを述べ合ったり助言し合ったりする言語活動を設定する。社会科の地理や歴史、1年生の時の総合的な学習で行った国際交流会や和文文化学習など他教科で学習した内容も活用した教科横断的な学習も期待できる。

指導にあたっては、自分が行きたい国について調べた内容等を整理し、その国に合ったものを紹介できるよう話したり、助言したりできるように、相手意識をしっかりと持ったやり取りになるよう留意させる。また、相手からの質問に対してより分かりやすく具体的に答えることができるように、事実と気持ちを整理して話したり、大きい情報から小さい情報へと話を展開するよう話す順番を考えて話したりできるように、言語活動を通して、段階的に指導する。

本時の指導においては、質問に対してその内容を答えたり、さらに感想や具体的な内容を加えて2文以上で答えてやり取りを継続・発展させることに課題があることから、以下のようなポイントに重点を置いて指導する。

- ・アイデアマップを見て事実の部分と、自分の意見や考えの部分を整りして、それらを具体的に述べる。
- ・具体的な情報を加えて答えることで、やり取りが深まることを生徒モデルの発表やALTとのやり取りの中から気づかせる。
- ・違うペアと繰り返しやり取りをすることで、活用を通して表現の定着を図る。

また、具体的な情報を加えて答えるために必要となる新出の言語材料についても丁寧な指導を行いたい。受け身の文構造そのものを分かりやすく理解させるためにも、様々な場面や状況を設定し、実際のコミュニケーション場面から表現に気づかせ、言語活動で活用することを通して定着を図りたい。

CAN-DO リストの学習到達目標 話すこと [やり取り]

本校の各学年学習到達目標	
3 学年	与えられたテーマについて、様々な既習の英語を用いて、事実や根拠を示しながら自分の考えや気持ちを即興的に伝えることができる。
2 学年	日常生活の身近なことについて、簡単な英語を用いて、事実を示しながら自分の考えや気持ちを即興的に伝えることができる。
1 学年	自分の身の回りのことについて、基本的な表現を用いて即興的に質問したり答えたりして、先生や友達と会話をすることができる

4 単元の目標

- (1) 日常的な話題について、相手からの質問に対して具体的な情報を加えて答える。
(外国語表現の能力)
- (2) 間違いを恐れずに積極的にやり取りをする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (3) 受け身を用いた文構造と用法を理解する。 (言語や文化についての知識・理解)

5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
間違いを恐れずに積極的にやり取りをしようとしている。	日常的な話題について、相手からの質問に対して具体的な情報を加えて答えることができる。	/	受け身を用いた文構造と用法を理解している。

6 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	中学生観光親善大使に任命された向陽中学校2年生の生徒が、自分の行きたい国で日本の魅力を伝えるために活動する。日本の魅力として伝えたい事とその理由、具体的な事実とそれに対する自分の気持ちを伝え合う。
目指す発話例	<p>B: Where do you want to go? A: I want to go to Korea. B: Oh Korea. What do you want to tell to Korean people? A: I want to tell about Japanese food. B: Why do you think so? A: Japanese food and Korean food is similar, but there are some differences between them. B: For example? A: I want to tell about sushi. Sushi is known to many people in the world. In Japan, we have some kinds of sushi like <i>nigirizushi</i>, <i>chirashizushi</i>, and <i>makizushi</i>. B: Do they have sushi in Korea? A: No, they don't, but they eat <i>kimpa</i>. It's like Japanese <i>makizushi</i>. <i>Sumeshi</i>, vinegared rice is used for Japanese sushi. In Korea, they don't use vinegar. The sesame oil is used for Korean <i>kimpa</i>. So I think <i>makizushi</i> is healthier than <i>kimpa</i>. B: That's interesting. You should tell about sushi more. A: Yes, and <i>nori</i> is different too.</p>

7 指導と評価の計画

時	ねらい・学習活動	評価規準 評価方法
1 課題設定	<p>中学生観光親善大使として、自分が行きたい国で日本の魅力を伝えるとしたら、どんなことを伝えたらよいだろうか。</p> <p>●本単元の言語活動の見通しを持ち、本単元で身に付ける技能などについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界で活躍する日本人の動画を見て、自分ならばどんなことを伝えられるかアイデアマッピングをする。 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 	
2 情報の収集	<p>●自分が伝えたい日本のことについてアイデアマッピングをもとに伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 (Part1) を読んで、受け身の意味と構造を理解する。 どんなことを伝えたいか、友達とやり取りする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: What do you want to tell? B: I want to tell about Japanese food. A: Why do you think so? B: Because Japanese food is delicious. It is known to many people in the world. A: I see.</p> </div>	エ (後日ペーパーテスト)
3	<p>●教科書 (Part2) を読んで、詳しく具体的に伝える方法を学んでやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文内容を読んで、詳しく具体的な内容について理解する。 相手の質問に対して、具体的な情報を加えて答えるやり取りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: What do you want to tell? B: I want to tell about Japanese food because it's delicious. <u>Sushi is known to many people in the world.</u> A: I will tell about sushi. B: Why do you think so? A: I think sushi is healthy. <u>Healthy food is liked by many people in Korea.</u> B: I see.</p> </div>	ア (行動観察) イ (後日パフォーマンステスト)
4 本時	<p>●自分が伝えたい日本のことについて、事実とそれに対する自分の考えや気持ちを整理してやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の質問に対して、具体的な情報を加えて答えるやり取りをする。 日本文化の伝えたいことと、それに対する自分の考えや気持ちを整理してやり取りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: What do you want to tell? B: I want to tell about Japanese food because it's delicious. <u>Sushi is known to many people in the world.</u> A: I will tell about sushi. B: Why do you think so? A: I think sushi is healthy. <u>Healthy food is liked by many people in Korea.</u> <u>So they will like sushi.</u> B: I see.</p> </div>	ア (行動観察) イ (後日パフォーマンステスト)

5	<p>●教科書(USE READ)のラーズのスピーチを読んで、どのような情報を加えたら日本の文化の魅力が伝わるかを考えてやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーズがどのような順番でスピーチをしているのか内容を理解する。 ・日本について自分が伝えたい内容と、自分が行きたい国を比較しながら考える。 ・どのような内容を伝えたら日本の魅力が伝わるか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: What do you want to tell about Japan? B: I want to tell about Japanese food because it's delicious. A: What kind of Japanese food will you tell? B: I will tell about sushi. Sushi is known to many people in the world. Japanese food is similar to Korean food, but there are some differences between them. A: For example? B: In Korea, they eat <i>kimpa</i>. It's like Japanese <i>makizushi</i>. <i>Sumeshi</i>, vinegared rice is used for Japanese sushi. In Korea, the sesame oil is used. So I think <i>sushi</i> is healthier than <i>kimpa</i>. A: I see.</p> </div>	ア (行動観察) イ (後日パフォーマンステスト)
6 <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;">実行</div>	<p>●日本の中学生観光親善大使として、自分が伝えたい日本のことについて、考えや気持ちを整理して、友達とやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の流れを考えて、どんなことを相手に尋ねたらよいのか考えて質問する。 ・相手の質問に対して具体的な内容と自分の考えや気持ちを伝えるやり取りをする。 ・どのようなことを伝えたら日本の魅力が伝わるかをやり取りをもとに整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B: Where do you want to go? A: I want to go to Korea. B: Oh Korea. What do you want to tell to Korean people? A: I want to tell about Japanese food. B: Why do you think so? A: Japanese food and Korean food is similar, but there are some differences between them. B: For example? A: I want to tell about sushi. Sushi is known to many people in the world. In Japan, we have some kinds of sushi like <i>nigirizushi</i>, <i>chirashizushi</i>, and <i>makizushi</i>. B: Do they have sushi in Korea? A: No, they don't, but they eat <i>kimpa</i>. It's like Japanese <i>makizushi</i>. <i>Sumeshi</i>, vinegared rice is used for Japanese sushi. In Korea, they don't use vinegar. The sesame oil is used for Korean <i>kimpa</i>. So I think <i>makizushi</i> is healthier than <i>kimpa</i>. B: That's interesting. You should tell about sushi more . A: Yes, and <i>nori</i> is different too.</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;">整理・分析</div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;">まとめ・創造・表現</div> </div>	ア (行動観察) イ (後日パフォーマンステスト)
後日	<p>●新しいALTに向陽中学校について、伝えたいことを自分の考えや気持ちを整理して伝えるやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステストの実施 パフォーマンステスト <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center; width: fit-content; margin-left: auto;">振り返り</div>	ア (行動観察) イ (後日パフォーマンステスト)

9 本時の目標 自分が伝えたい内容を、具体的な事実とそれに対する自分の考えや気持ちとを整理して友達とやり取りをする。

10 本時の指導計画 (4時間目/全6時間)

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 [観点] (評価方法)
導入 10分	1 始めの挨拶 2 Small Talk 前回の復習を兼ねて、自分の伝えたい日本文化について伝え合う。 (T-S ⇒ S-S)	◇元気よく挨拶をさせて、積極的に学習に入るよい雰囲気をつくる。 ◇自分が伝えようと思う内容を自由にやり取りさせる。 ◇前回までのやり取りで、具体的な情報を加えて答えたことを確認させる。 ◆自分のアイデアマップを見ながらやり取りをしてもよいとする。	
展開 30分	3 JTEとALTのやり取りを聞いて、これまでとの違いに気づかせる。 4 本時のめあて確認	◇これまでのやり取りとの違いに気づかせる。 ◆伝えたい内容をどのような順番で伝えているのかを聞き取らせる。 ◇ペアやグループで分かったことを話し合わせた後で、クラス全体で共有する。	
Today's Goal 自分が伝えたい内容を、事実とそのことに対する自分の考えや気持ちとを整理して伝え合おう。			
	○やり取り1 ペアを替えて2回 ○中間評価 ・生徒のモデル発表 ・ALTと生徒のやり取り ○やり取り2 ペアを替えて2回	◇目的や状況を確認し、ペアでやり取りをする。 ◇例を挙げながら具体的なことをやり取りしているペアをモデルとして指名する。 ◇モデル発表の良いところをクラスで共有する。 ◇伝えたい内容のうち、事実とそれに対する自分の気持ちを伝えられるように整理してやり取りすることを確認する。 ◆分からないことがあれば、具体的な質問の仕方や答え方を確認して板書する。 ◇中間評価を踏まえて、やり取りさせる。	ア 間違いを恐れずに積極的にやり取りをしようとしている。(行動観察) イ 日常的な話題について、相手からの質問に対して具体的な情報を加えて答えることができる。(後日パフォーマンス)
<p>A: What do you want to tell? B: I want to tell about Japanese food because it's delicious. <u>Sushi is known to many people in the world.</u> A: I will tell about sushi. B: Why do you think so? A: I think sushi is healthy. <u>Healthy food is liked by many people in Korea.</u> <u>So they will like sushi.</u> B: I see.</p>			

	<p>○最終評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒のモデル発表 ・疑問点の共有 <p>○ALTからの評価</p>	<p>◇大きな情報から小さな情報へと話を展開させたり，例を挙げることで具体的な情報を付け加えたりすることができることをおさえる。</p> <p>◇疑問点があればクラスで共有して次時の活動につなげる。</p> <p>◇本時の活動で良かった点と改善点を伝え，自分の振り返りにつなげさせる。</p>	<p>ンステスト)</p>
まとめ 10分	<p>5 本時の振り返りとまとめ 本時のめあてに対するまとめを発表する。</p>	<p>◇本時の学習について内容面と言語面について生徒に学んだことを確認して伝える。</p> <p>◇本時のめあてが達成できたかを振り返って，書かせる。</p> <p>◇机間指導して，生徒の振り返り内容を確認する。</p> <p>◇数人の生徒を指名して発表させる。</p>	
	<p>6 終わりの挨拶</p>	<p>◇次回内容の予告をする。</p> <p>◇英語係の号令に合わせて元気よく挨拶をさせる。</p>	

11 板書計画

<p>観光親善大使になって日本のPRをしよう 単元目標 具体的な情報を加えて伝え合おう</p> <p>Day: Wednesday Date: December 9th Weather: sunny Today's Goal</p> <p>自分が伝えたい内容を事実とそのことに対する自分の考えや気持ちとを整理して伝え合おう。</p>	<p>What do you want to tell? Why do you think so? Do you know ~? Tell me more about ~.</p> <p>I want to tell ~. Because ~. I think ~.</p> <p>You should tell ~. How about ~?</p>	<p>本時の流れ</p> <p>Small Talk</p> <p>Talking in pair 1</p> <p>Talking in pair 2</p> <p>Today's summary</p>
---	--	---

12 パフォーマンステスト

新しく来る ALT の先生は初めて日本にやってくるのが分かりました。そこで、向陽中学校について教えてほしいと依頼がありました。あなたはどのようなことを伝えたいと思いますか。グロリア先生やキートン先生とあなた自身が伝えたいと思う内容や、その理由などを伝え合いましょう。

A: ALT B: 生徒

	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	発話例
A	間違いを恐れず積極的にやり取りをしようとしている。	相手の意向に沿うように、具体的な情報を加えて答えることができる。	<p>A: What will you tell to the new English teacher?</p> <p>B: I will tell about Japanese culture class. We have Japanese culture classes in Koyo.</p> <p>A: What do you do in the class?</p> <p>B: I have some classes, for example koto, shakuhachi, jodo. We learn Japanese culture in the class. <u>Do you know about the new teacher?</u></p> <p>A: No, I don't, but they may be interested in Japanese culture. I want to learn Japanese culture in Koyo. So the new teacher will like to study. What do you want to learn in Japanese culture class?</p> <p>B: I want to learn jodo because I'm in the kendo club. I practice kendo. Bamboo sword is used in kendo. Students use a stick in the jodo class. The stick is called jo. I think jodo is like kendo. So I want to try it. <u>I think the new teacher wants to try jodo.</u></p> <p>A: I see. I want to try it too. Thank you.</p>
B	間違いを恐れず積極的にやり取りをしようとしている。	相手からの質問に対して具体的に情報を加えて答えることができる。	<p>A: What will you tell to the new English teacher?</p> <p>B: I will tell about Japanese culture class. We have Japanese culture classes in Koyo.</p> <p>A: What do you do in the class?</p> <p>B: I have some classes, for example koto, shakuhachi, jodo. We learn Japanese culture in the class.</p> <p>A: What do you want to learn in Japanese culture class?</p> <p>B: I want to learn jodo because I'm in the kendo club. I practice kendo. Bamboo sword is used in kendo. Students use a stick in the jodo class. The stick is called jo. I think jodo is like kendo. So I want to try it.</p> <p>A: I see. Thank you.</p>
C	積極的にやり取りをしようとしていない。	相手からの質問に答えたりすることができない。	<p>A: What will you tell?</p> <p>B: I don't know.</p>